

次 号 予 告

特集 生物とOR

生物進化における自然選択の最適性—変動環境と幾何平均適応度—

.....吉村 仁・岡部拓也（静岡大学）、伊東 啓（長崎大学）
周期ゼミの進化—環境変動への適応と生物進化の最適性—

.....伊東 啓（長崎大学）、吉村 仁（静岡大学）

葉序にみる生物形態進化の最適化問題.....岡部拓也（静岡大学）

迅速な進化が促進する振動依存の多種共存.....山道真人（The University of Queensland）

世代交代する生活環の進化機構とその検証における海産緑藻類の有用性

.....堀之内祐介・富樫辰也（千葉大学）

生物の繁殖をめぐる進化ゲーム.....小林和也（京都大学）

機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>
会員限定ページの閲覧には、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。【ユーザー名】 XXXXXXXXXX 【パスワード】 XXXXXXXXXX

編集後記

●本号は、「はじめようGIS」と題し、交通（物流・人流）を中心にさまざまな領域において活用されている地理情報システム（GIS）について、これからGISを活用したいと考える方向けの基礎から、各研究領域における最先端の応用事例まで、大変読み応えのある内容となっております。筆者自身、大変興味深く読ませていただき、GISを活用した研究テーマを新たに考えるきっかけを得ることができました。

●新型コロナウイルスに着目すると、ワクチンに関連した国際物流、都市・地点の人流に加え、ワクチン配布場所の検討や、接種すべき集団の順位付け、接種後の観察・情報取得など、さまざまな場面においてGISは必要不可欠であり、今後のより一層の貢献を期待しています。

●さて、新型コロナウイルスの感染拡大以降、筆者の研究室ではリアルタイムオンライン形式での活動を主としておりましたが、この編集後記を執筆時点では、少しずつ以前の状態に戻りつつあります。研究室の学生と対面で話す機会が少しずつ増えてくるなかで、オンラインよりも活発な議論が増えたように感じます。改めて、“リアル”なコミュニケーションが有する特性を認識しました。

●新型コロナウイルスの収束・終息に向け、当たり前ではありますが引き続き気を緩めずに、まずはわれわれが身の回りでできることを継続していく必要があると考えています。

（大竹恒平）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 野々部 宏司（法政大学）

特集担当編集委員 原田 耕平（株式会社NTTデータ数理システム）

委員 朝日 弓未（東京理科大学）、伊豆永 洋一（九州大学）、井床 利生（IBM基礎研究所）、井家 敦（神奈川工科大学）、鶴飼 孝盛（防衛大学校）、梅谷 俊治（大阪大学）、大竹 恒平（東海大学）、加藤 怜（公益財団法人鉄道総合技術研究所）、小林 隆史（立正大学）、佐久間 大（防衛大学校）、笹谷 俊徳（東京ガス株式会社）、猿渡 康文（筑波大学）、高野 祐一（筑波大学）、生田目 崇（中央大学）、蓮池 隆（早稲田大学）、山本 零（慶應義塾大学）、吉田 琢史（株式会社東芝）

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和3年12月号 第66巻 第12号 通巻732号

代表者 田 口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社（Tel 03-3546-1337）へ。